

1. 室内体験（通常）用 チェックリスト

1.0 事前チェックリスト（主に施設責任者が行う内容です）

番号	要素	チェック	具体的な内容
1	6：専門機関との連携		責任者は、最寄りの保健所の連絡先と住所、アクセスをホームページから印刷して保存する
2	6：専門機関との連携		責任者は、スタッフやゲストにコロナ感染症が疑われる場合には、施設責任者は早急に保健所に連絡を行い、保健所の指示に従うことを理解する
3	6：専門機関との連携		保健所から明確な指示があった場合には、施設責任者はスタッフやゲストに関する情報共有に協力することを理解する
4	6：専門機関との連携		責任者は、毎週、都道府県のホームページにてコロナに関する感染状況を確認する
5	6：専門機関との連携		責任者は、スタッフとゲストの情報を厳重に管理するファイルを用意する
6	6：専門機関との連携		責任者は、スタッフの名前と緊急連絡先、シフトをファイルに保存する
7	6：専門機関との連携		責任者は、毎日、ゲスト代表者の名前と緊急連絡先、開始時間を記録して保存する
8	4：社会的距離（密集対策）		責任者は、状況に応じて、営業時間単位での人数制限（または貸し切り）を行う
9	4：社会的距離（密集対策）		責任者は、支払いに関して、事前清算（オンライン等）や非接触決済を導入する
10	3：換気（密閉対策）		責任者は、換気が弱い場所はドアの開放、または扇風機や空気洗浄機の設置を行う

1.1 営業前チェックリスト（主にスタッフが行う内容です）

番号	要素	チェック	具体的な内容
1	2：健康管理（スタッフ・お客さま）		スタッフは、営業開始前に体温と健康状態を記入して、記録として保存する
2	1：消毒・清掃（手指・環境）		スタッフは、営業開始前に、接触部分や施設内の環境を消毒・清掃する
3	3：換気（密閉対策）		スタッフは、営業中は、1時間に1回を目標に換気を行う
4	4：社会的距離（密集対策）		スタッフは、営業中や休憩中は、スタッフ同士が社会的距離（2m、最低1m）を意識して業務を行う
5	5：マスク着用（密接対策）		スタッフは、営業中は、原則マスクを着用する（布マスクでも可能）

1.2 入場時チェックリスト（主にスタッフが行う内容です）

番号	要素	チェック	具体的な内容
1	2：健康管理（スタッフ・お客さま）		スタッフは、ゲストに、体調が悪い人や濃厚接触者がいないかを確認する（書面による確認とサインを考慮しても良い）
2	1：消毒・清掃（手指・環境）		入場時には、ゲストに手洗い、または手指消毒を行なってもらう
3	4：社会的距離（密集対策）		スタッフは、入場時には、入場が重ならないように1組ずつ案内する
4	5：マスク着用（密接対策）		スタッフとゲストが接近したり、会話したり、一緒に作業する場合は、あらかじめ利用者にマスクの着用を促す
5	4：社会的距離（密集対策）		スタッフは、入場時には、ゲストに消毒、社会的距離、マスク着用のへの協力依頼を掲示または口頭にて行う

1.3 内容説明・精算時チェックリスト（主にスタッフが行う内容です）

番号	要素	チェック	具体的な内容
1	1：消毒・清掃（手指・環境）		スタッフは、内容説明に関して渡す資料を予め消毒しておく
2	4：社会的距離（密集対策）		スタッフは、社会的距離（2m、最低1m）を保ったまま説明を行う
3	4：社会的距離（密集対策）		スタッフは、できるだけ媒体（パンフレットやメニュー、動画）を用いて内容を説明する
4	5：マスク着用（密接対策）		スタッフは、体験内容を説明する際は、マスクを着用する
5	4：社会的距離（密集対策）		現金精算の場合は、ゲストにトレーにお金を置いてもらう

1.4 体験時チェックリスト（主にスタッフが行う内容です）

番号	要素	チェック	具体的な内容
1	1：消毒・清掃（手指・環境）		スタッフは、体験時に貸し出しするものは、貸し出し前に消毒する
2	4：社会的距離（密集対策）		スタッフは原則、営業中は、ゲストに接触しない
3	4：社会的距離（密集対策）		体験中は、同じグループは同席として良いが、複数グループ対応する場合は、社会的距離を保つか、または仕切りを立てる
4	5：マスク着用（密接対策）		接近した会話が必要になる場合には、ゲストにマスク着用を促す
5	1：消毒・清掃（手指・環境）		スタッフは、体験終了時に、貸し出した物や使用した場所を消毒・清掃する

1.5 退場時チェックリスト（主にスタッフが行う内容です）

番号	要素	チェック	具体的な内容
1	4：社会的距離（密集対策）		スタッフは、退場が重ならないように1組ずつ案内する
2	4：社会的距離（密集対策）		スタッフは、退場時には、社会的距離を保ったまま、見送りをを行う
3	1：消毒・清掃（手指・環境）		スタッフは、退場後には、必ず触れる部分については、清掃または消毒を行う
4	3：換気（密閉対策）		スタッフは、新しいグループを迎える前には、換気を行う
5	5：マスク着用（密接対策）		スタッフは、マスクは原則、1日1回変えるものとする

1.6 その他の注意点

こどもに関して

2歳未満のこどもに関しては、窒息のリスクがあるので、マスクは着用させない

2歳以上で5歳未満のこどもに関しては、マスクの着用は強制しない

動きまわる場合には、スタッフは保護者と相談して対処し、なるべく直接接触しない

着替えに関して

着替えの際は、スタッフが着替えスペースへの入場制限を行う

着替えの際は、ゲスト同士は2m以上離れて着替えを行う

適宜、スタッフが更衣室の換気を行う

適宜、接触する部分に消毒や清掃を行う

室内の運動について

室内の運動にて、他のグループと交流する際は、可能な限り社会的距離（4m、最低3m）を確保し、マスクの着用も考慮する

トイレや休憩室、喫煙所に関して

トイレを使用した後は、スタッフ・ゲストは手洗い、または手指消毒を行う

休憩室を使用する際には、スタッフは密にならないように注意し、体験に戻る時は手洗い、または手指消毒を行う

喫煙所に関しては、社会的距離が保てるように人数制限として記載し、それ以外は外で社会的距離を保ったまま待機するように掲示する

適宜、接触する部分に消毒や清掃を行う

食事の提供について

食事の提供をする際には自然と三密になることが多く、三密対策を徹底する

食品衛生法を順守して、食品の安全と衛生を管理する

食事をする際は、なるべく横並びとして、社会的距離（2m、最低1m）を保つか、または仕切りを立てる

料理の共有は避けて、個別の提供としたり、スタッフが取り分けたりする

詳細については「外食業の事業継続のためのガイドライン」（一般社団法人 日本フードサービス協会）を参照する

救急対応に関して

体験中に気分が悪くなった場合には、スタッフはマスクと手袋をした状態で接触して対処する

体験中に体調不良が続いた場合、発熱やコロナが疑われる場合は、スタッフの判断で体験を中断して、救急車を呼ぶ

スタッフまたはゲストにコロナが発生した場合には、施設責任者は、保健所の指導に基づき、スタッフに速やかに連絡し、安全性が担保されるまで施設の休業と社会保障の利用を考慮する